

レポート

# 日本酒フェア 2010

## 酒造関係者渾身のビッグイベント、4回目を迎えさらにパワーアップ



酒造関係者渾身の需要開発イベント「日本酒フェア2010」が、6月16日、東京都豊島区の池袋サンシャインシティで開催されました。(独法)酒類総合研究所 & 日本酒造組合中央会共催の「平成21BY 全国新酒鑑評会公開きき酒会」と、日本酒造組合中央会単独主催の「第4回全国日本酒フェア」を組み合わせた「年に一度の日本酒の祭典」は、4回目を迎えてさらにパワーアップ。



平成 21BY 全国新酒鑑評会公開きき酒会(上)と第4回全国日本酒フェアの会場の模様

# 日本酒ファンを楽しませたボリューム満点の豪華企画



オープニングのテープカット。左から土井清酒技術委員長、酒類総研の平松理事長、辰馬会長、佐浦需要開発委員長と、おちょこくん。



今秋「日本酒で乾杯推進会議」の地方大会が行われる奈良県から、遷都 1300 年記念の PR マスコット・せんとくんが特別参加。日本酒の PR キャラクター・おちょこくとガッチリ、エールを交換

独立行政法人酒類総合研究所(酒類総研)と日本酒造組合中央会(中央会)の清酒技術委員会・需要開発委員会が連携する国内最大級の日本酒イベント「日本酒フェア」。2007 年の第 1 回開催以来、回を重ねるたびに日本酒ファン、流通・料飲関係者の間に大きな反響を巻き起こしています。

今回は、「公開きき酒会」が 10 時~20 時(会場=サンシャインシティのワールドインポートマート 4 F 展示ホール)、「全国日本酒フェア」が 11 時~20 時(同文化会館 4 展示ホール)の開催で、「公開きき酒会」では、混雑緩和のため



の 2 部入替制(第 1 部 = 10 時~13 時、第 2 部 = 16 時~20 時)を今年も導入。また、「全国日本酒フェア」では、「日本酒セミナー」が装いも新たに実施されたほか、アンケートに答えて日本酒や酒器セットなどが当たる抽選会など来場者サービスも一段とボリュームアップ。開催を待ち侘びた日本酒ファンを喜ばせました。



会場の入口前。到着早々、ポスターを写メ撮影する女性の姿も

## 試飲&蔵元とのコミュニケーションでお酒博士に(辰馬会長)



挨拶する辰馬会長(左)と平松理事長

午前 10 時 45 分から行われたオープニング・セレモニーでは、中央会の辰馬会長と酒類総研の平松理事長が、「今日はテイスティング&蔵元とのコミュニケーションで、新しい日本酒の魅力を発見し、酒博士になって帰ってください」(辰馬会長)、「今年は暖冬の影響などで酒造りが難しかったが、鑑評会に出品されたお酒はどれも素晴らしいものばかり。十二分に味わって日本酒への理解を深めてほしい」(平松理事長)と、それぞれ主催者を代表して歓迎の挨拶。続いて、関係者全員そろってテープカットを行った後、待望のビッグイベントは「公開きき酒会」と併せていよいよフル回転へ。

## 平成21BY全国新酒鑑評会「公開きき酒会」の様



全国 8 ブロックに分けて会場をレイアウト。2 部入替制でゆったりきき酒。

### 香味の調和した高品質ぞろい。入賞酒453点を大公開

日本唯一の全国規模の清酒鑑評会として揺ぎない信頼を得ている全国新酒鑑評会も、今年で通算 98 回目。今回は総出品数 895 点のうち 457 点が入賞し、うち 242 点が金賞を受賞しています。その入賞酒のほぼ全点(453 点)を一挙に公開したのが「公開きき酒会」。



いよいよ開場！

鑑評会を主催する酒類総研によれば、「平成 21BY は全国的に寒暖の差が激しかった上に酒造米が溶けやすく、酒造りが大変難しい年だったものの、出品酒は全般に高品質で、適度の香りと上品な旨味が調和した酒が多かった」とのことで、その極上の味を実際に確認できる絶好の機会を逃すまいと、会場には今年も多勢の来場者が詰め掛けました。

#### 「有給とって参加。来てよかった」筋金入りの女性ファンも

地域別 8 ブロックに整理された会場は、2 部入替制の効果もあって、ゆったりきき酒を楽しむにはちょうど手頃な雰囲気。来場者は、真剣にメモを取ったり、友人と印象を語り合ったりして各ブロックを行ったり来たり。女性の姿も多く、中には「小田原から有給休暇を取って参加した。来てよかった」という筋金入りの女性ファンもいて、イベントの人気を印象づけました。

会場の一画では酒類総研も各種パンフレットや麹・酵母などを展示して情報サービス。担当者のお話では「酵母に関する専門的な質問やきき酒方法といった初歩的なものまで、業界人も一般のファンも好奇心いっぱいです」とのことでした。



酒類総研も情報サービスに大わらわ

## 「第4回全国日本酒フェア」の様相



「おちよくん」と「せんたくん」がお出迎え



売行き好調



あっちでも写メ

こっちでも



日青協のブースでは、酒サムライ叙任者も協力して、IWC 金メダル受賞酒 14 銘柄を出品

日本酒造協同組合連合会は、「ひと振り酒キャンペーン」参加商品 12 銘柄を販売。こちらも上々の売行



蔵元と交流のひと時

## 45県・4団体が独自のアイデアで華やかにPR合戦。全品完売の県も

「第4回全国日本酒フェア」には、全国45都道府県の酒造組合と日本酒造青年協議会、日本酒造協同組合連合会など関係4団体が総結集、各自工夫を凝らした展示企画で華やかなPR合戦を繰り広げました。

今回は特に販売に力を入れた酒造組合が多く、各県のブースが縦横に立ち並んだ会場では、そろいの前掛けに法被姿、あるいは純白のカッターシャツに蝶ネクタイ、スポーティーなポロシャツ姿などに装いを凝らした蔵元が、自慢の吟醸酒や純米酒、本醸造酒、お燗酒など約800点の試飲&販売を実施。ある県のブースでは「持ってきた商品が売り切れたので急遽補充した。最近日本酒は元気がないなんて、とても思えない」と、興奮ぎみの表情で語っていました。

ブースデザインも一段と多彩さを増し、居酒屋風、スタンドバー風、きき酒会風など様々な店構えを背景に、浴衣や和服姿の女性担当者らが地元特産物のつまみをサービスして来場者に対応する光景も。会場は、蔵元との交流を楽しみながら好みの銘柄や初体験の味を求める来場者たちで、閉会間際まで喧騒に包まれていました。

### 高橋理事と木村克己氏が講演「日本酒セミナー」

昨年初めて実施された「日本酒セミナー」が、一部新たな企画も加えて再登場。中央会の高橋理事(右の写真上)と日本酒スタイリストの木村克己氏が、およそ30分間のミニセミナーを行って、好評を集めました(各2回ずつ)。

高橋理事のお話は「日本酒を一層楽しむために」と題して、日本酒の健康効果や上手なきき酒方法、様々なお燗のつけ方などを説明したもので、今回は、スルメをつまみに日本酒とワインを試飲して相性を確かめたりする参加実習も加えられ、より楽しく中身の濃い講義内容に。

一方、木村氏のセミナーは、4月からスタートした「ひと振り酒キャンペーン」をテーマにした内容で、たったひと振りの日本酒がいかに劇的に料理の味を変えるか、炊飯、味噌汁、ラーメン等を例に興味津々のお話を展開。会場では顔きつつまめを取る女性参加者もいて、終了後には、さっそく日本酒造協同組合連合会のブースに赴いて専用ボトル入りひと振り酒を購入する人も。



参加実習



高橋理事のセミナー風景(上)と、キャンペーン専用ボトルを紹介する木村氏

## 来場者の感想から



### 公開きき酒会の会場で。「オランダでもこんな日本酒がほしい」

- ・小田原市から来ました。昨年、知り合いからこのイベントのことを聞いて、今年は絶対参加したいと思っていたので、有給休暇を取って1人で出てきました。日本酒が大好きで、今日は見たことも聞いたこともないお酒をたくさん試飲することができて、とても勉強になりました(一般、女性)。
- ・トビキリ上等の大吟醸酒の香りに包まれているだけで、とんでもなくゼイタクな気分になる。一度にこれだけの銘酒を、ボトルを1本も買わずにきき酒できるなんて、お金のない若い日本酒ファンにはとてもありがたい。このイベントだけは、これからも絶対続けて欲しい(一般、男性)。
- ・とてもいいイベントです。ただ、もう少し休める場所がほしい。それと、いろいろ事情はあるでしょうが、できれば2部に分けなくて通しでやってもらえると助かります(料飲店従業員、男性)。
- ・最近オランダでも日本酒は飲めますが、これだけ高級なものはまだ簡単には手に入りません。鑑評会の入賞酒と聞いて、仕事の関係もあって興味津々で来て見ました。外国人にも、このおいしさ、違いははっきりとわかります。もし、これほどハイクラスな日本酒がオランダで普通に手に入ったら、必ず日本酒を飲む人は増えるはずですよ。オランダにも日本料理のいいレストランは多いので、そういう店にどんどんいい日本酒を出してほしい。最後にお願いがひとつ。出品リストの英語版を作ってください。銘柄がわかりません(オランダ人ジャーナリスト、男性)。

### 「全国日本酒フェア」の会場で。「自信を持ってどしどし海外へ」

- ・吟醸酒一色の「公開きき酒会」に比べて、「全国日本酒フェア」は、各県がいろいろな酒を持ち寄ってきているので、華やかで楽しい。とても全部は味わい切れないが、日本酒の種類豊富さには今更ながら驚かされる。ワインのシャトー何とかなんて知識ばかり追求しているのは軽薄に思える。日本酒の文化や地域性はほんとに深いと感じます(一般、女性)。
- ・日本酒には拘りがあって、いま飲んでいる銘柄の新しい情報を知りたくて参加した。おもしろい話が聞けた。それが収穫のひとつ。それとIWCの入賞酒というのが面白かった。日本酒業界がああいうことをやっているとは全く知らなかったが、日本酒業界も自信を持ってどしどし外国に出ていくべきだと思う。ただ、出展蔵元が多すぎて、ゆっくり商談できなかったのは残念(酒販店経営、男性)。
- ・「ひと振り酒」っておもしろーい。ピンがとっても可愛いーのね。1本買いました(一般、女性)。
- ・梅酒を漬ける日本酒が欲しくて来ました。原酒がいいとか、いろいろ親切に教えてもらって助かりました。東北生まれなので、東北6県のお酒がおもしろかった(料飲店経営、女性)。

# 各県酒造組合・関連団体の出展風景 パート1



北海道酒造組合



青森県酒造組合



岩手県酒造組合



秋田県酒造組合



宮城県酒造組合



山形県酒造組合



福島県酒造組合



茨城県酒造組合



栃木県酒造組合



群馬県酒造組合



埼玉県酒造組合



東京都酒造組合連合会



千葉県酒造組合



神奈川県酒造組合



山梨県酒造組合



長野県酒造組合



新潟県酒造組合



福井県酒造組合



石川県酒造組合連合会



富山県酒造組合



静岡県酒造組合



愛知県酒造組合



三重県酒造組合



岐阜県酒造組合連合会

# 各県酒造組合・関連団体の出展風景 パート2



滋賀県酒造組合



京都府酒造組合連合会



大阪府酒造組合



奈良県酒造組合



和歌山県酒造組合連合会



兵庫県酒造組合連合会



岡山県酒造組合



広島県酒造組合



鳥取県酒造組合



島根県酒造組合



山口県酒造組合



愛媛県酒造組合



香川県酒造組合



徳島県酒造組合



高知県酒造組合



福岡県酒造組合



佐賀県酒造組合



長崎県酒造組合



大分県酒造組合



熊本県酒造組合連合会



宮崎県酒造組合



日本酒造青年協議会



日本酒造協同組合連合会



長期熟成酒研究会



日本酒ライスパワーネットワーク



インフォメーションコーナー



会場全体の雰囲気